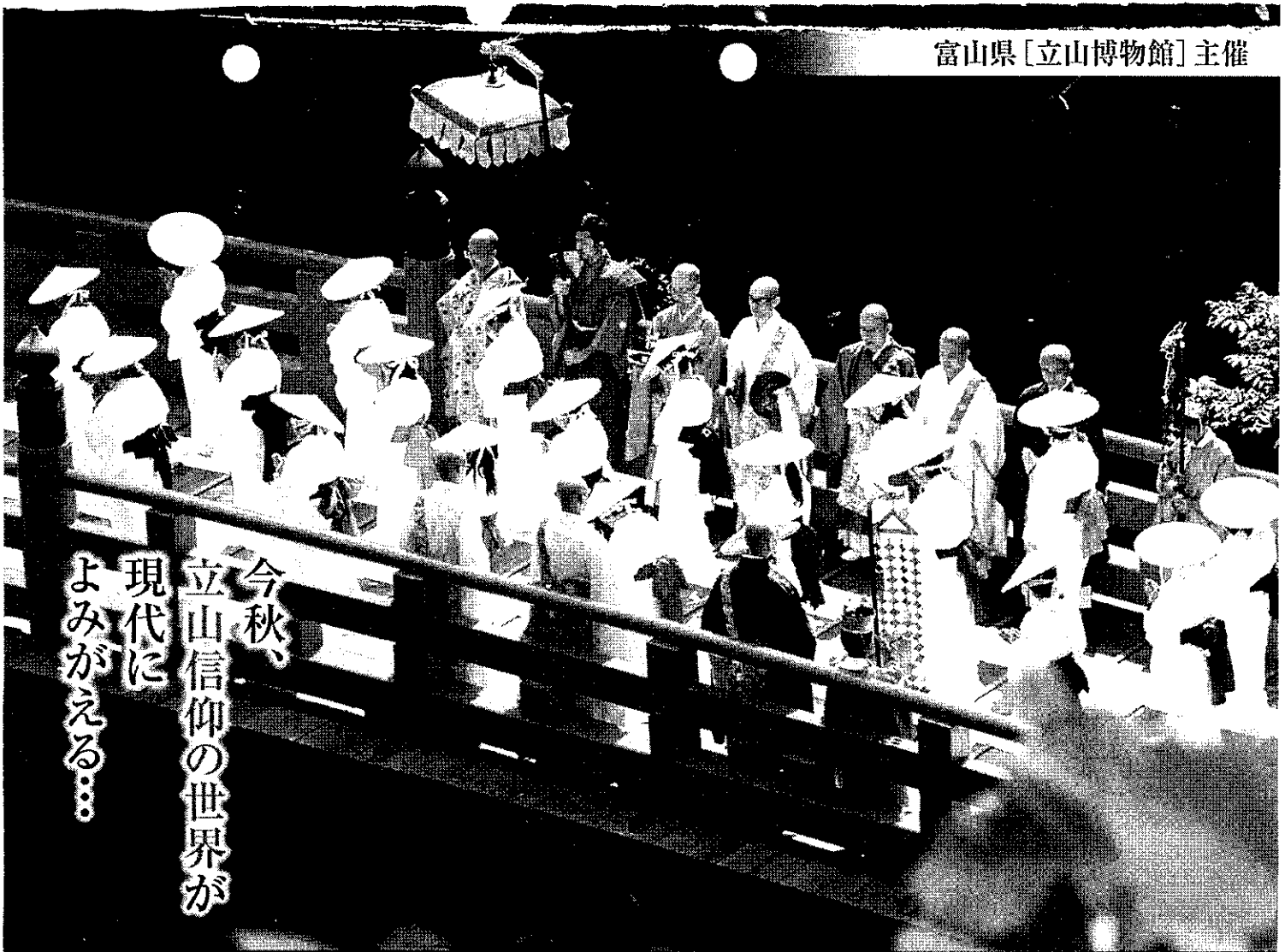


富山県[立山博物館]主催



今秋、
立山信仰の世界が
現代に
よみがえる……

平成26年度 布橋灌頂会開催記念講演会

江戸と立山の癒しと救い

ぬの ぼし かんじょう え

地獄・極楽と布橋灌頂会

日時 平成26年7月12日(土)

◆開場 13時 ◆開会 14時(16時30分まで)

会場 江戸東京博物館ホール

東京都墨田区横綱1-4-1

聴講無料 定員400名

事前予約制
※裏面参照

今年秋、富山県の立山において、「布橋灌頂会」の再現イベントが開催されます。

イベントの開催を機に、江戸時代の都市民にも知らされていた越中立山の「癒しと救い」の世界について、2人の講師がわかりやすく紹介します。

■主催／富山県[立山博物館] ■共催／富山県[立山博物館]友の会

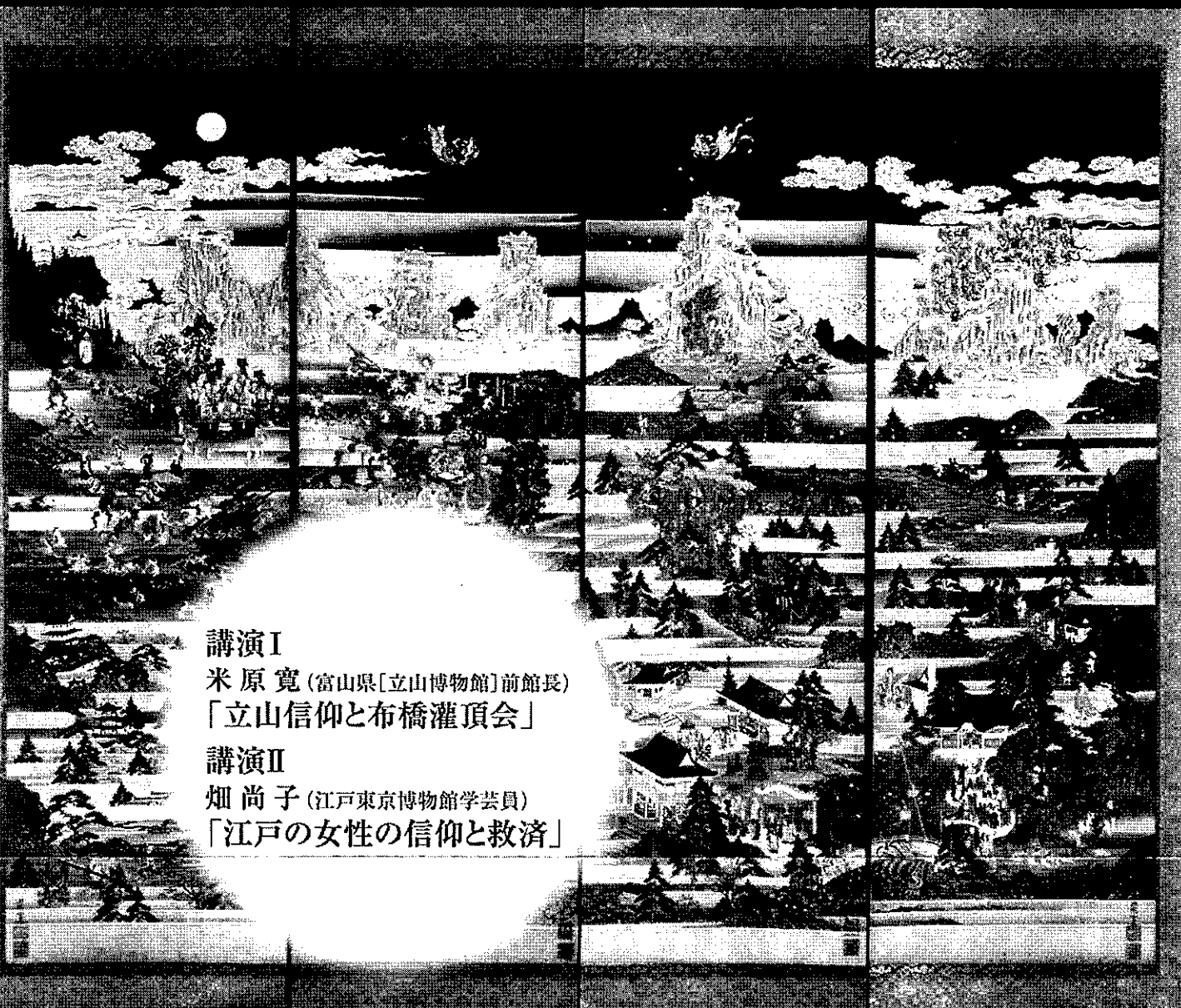
■後援／江戸東京博物館、東京富山県人会連合会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

富山県[立山博物館] 〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峰寺93-1 TEL 076-481-1216(代表) FAX 076-481-1144 立山博物館公式フェイスブック・ホームページでもご案内しています。

富山県のシンボル・霊山立山への登拝拠点の一つであった「芦峯寺集落」。そこに建設された「立山博物館」は、その「場」の文化財を「場の景観」とともに現代社会・未来へ伝える役割を担っています。

芦峯寺(中宮)集落には、娯堂川が流れ、あの世(山)とこの世(村)の境界と認識されていました。そこに壮麗な橋(天の浮き橋・布橋)が架かり、かつてこの橋を舞台に、女性を極楽浄土へ導く儀式「布橋灌頂会」がおこなわれました。

江戸時代、「立山信仰」は全国各地へ伝えられ、江戸でも町人、さらに幕臣や大奥にも及んでいました。



講演Ⅰ

米原 寛 (富山県[立山博物館]前館長)

「立山信仰と布橋灌頂会」

講演Ⅱ

畑 尚子 (江戸東京博物館学芸員)

「江戸の女性の信仰と救済」

来春、いよいよ北陸新幹線が首都圏と富山を結びます。遠く離れた富山県・立山と首都圏には、かつて共通する精神文化を有し、江戸の町に生きた人々のこころを立山が抱いていた歴史と文化がありました。「布橋灌頂会」の現代的復元イベントが開催される今年、先人の知恵に学び、本講演会を開催いたします。

「立山曼荼羅」宝泉坊本(安政5(1838)年成立)松平乗全画(個人蔵)

申込方法 1.往復はがき 2.FAX 3.Eメール いずれかの方法で受付いたします。

**受付期日／平成26年
6月末日まで(必着)**

1.往復はがき

往復はがきに必要事項と返信用に宛先をご記入の上、下記までお申し込み下さい。
(はがき1枚につき、複数名可)

申込先

〒930-1406 富山県中新川郡
立山町芦峯寺93-1
富山県[立山博物館]学芸課 宛て

2.FAX

必要事項をご記入の上、下記までお申し込み下さい。

(FAX1枚につき、複数名可)

申込先

FAX 076-481-1144
富山県[立山博物館]学芸課 宛て

3.メール

必要事項をご記入の上、下記メールフォームよりお申し込み下さい。
(1メールにつき、複数名可)

申込先

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1739/form.html
件名に「江戸博講演会申込」とご記入下さい。

記入事項

- ① 参加者全員の氏名、年齢
- ② 布橋灌頂会を知っていますか?
(はい・いいえ)
- ③ 申込者の住所・電話番号
- ④ 返信先
 - FAXの場合…返信FAX番号
 - メールの場合…Eメールアドレス

1.往復はがきで応募

返信はがき

2.FAXで応募

返信FAX

3.Eメールで応募

返信Eメール
(プリントアウト)

7月上旬に、申込み方法に応じた返信で参加をご連絡いたします。(抽選の場合は当選を案内)なお、返信物を当日の入場券といたしますので、必ずご持参ください。

※抽選の結果は返信をもって当選案内とさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報、本講演会に関するご案内のみに利用いたします。

きてきて富山
きとぎと富山
2015年春 立山博物館開館